

【学校の教育目標】		ふるさとに誇りを持ち、人間性豊かにたくましく生き抜く児童生徒の育成 ～ 学びあい 支えあい みがきあい ～		資質・能力との関連			担当
【育成を目指す資質・能力】		聞く力・伝える力		知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等の	
重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標				
聞く力の育成	○ 「話の聞き方3ステップの①おへそを向けて目を見て聞くを守っている」と肯定的回答をする児童の割合80%以上	学校 ○ 話を聞く力を向上するための取り組み	○ 教職員は話の聞き方3ステップを掲示し、授業や集会等で意識して声掛けを行う。 ＜話の聞き方3ステップ＞ ①おへそを向けて目を見て聞く ②うなずきながら聞く ③最後まで聞く	○			研究部
		家庭 ○ メディアルールを守った生活	○ 家族で話し合い生活チェックカードのめあてを決め、目標を達成できるように、保護者が声かけによるサポートを行う。	○			
		地域 ○ 「地域と共にある学校」に向けての支援	○ 地域は、毎回の学校運営協議会や学校行事において、学校の取り組みについて意見や感想を積極的に述べる。		○		
話す・表現する力の育成	○ 「自分から進んで挨拶プラス1ができて」と肯定的回答する児童の割合を70%以上	学校 ○ 基本的な生活習慣の習得（凡事徹底6項目） ・元氣よくあいさつ・返事をします ・ていねいな言葉づかいをします	○ 教職員は日常的にあいさつの指導を行い、小学部朝会であいさつの良い人を紹介する。 教職員は生活目標を掲示したり、朝の会で意識させたりし、帰りの会で振り返りをさせる。	○			指導部
	「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができた。」とA評価回答する児童の割合を70%以上	学校 ○ 思ったことや考えたこと等を「書く活動」を設定した授業（ICTも活用する）	○ 授業者は発表することを想定して考えを書いたり、交流したりする活動を月一回以上取り組む。		○		研究部
		家庭 ○ 家庭でのつながり（家庭版「えがおの花」活動）の推進	○ 家庭は、学期に1回「笑顔の花カード」に子どものいいところを見つけて記入する。		○		
		地域 ○ あいさつと声かけの推進	○ 地域全体で育友会との連携を図り、毎朝のあいさつ運動や「あいさつプラス1」の活動を行う	○			
伝える力の育成	○ 「授業や行事などで、相手の意見について自分の考えをもち、ペアやグループで伝え合うことができた」肯定的回答をする児童の割合を70%以上	学校 ○ 行事や授業において、一つのめあてや課題について、ペアやグループ活動で伝え合う場を1日に1回以上設定する。	○ 授業者は、ペア・グループ学習において考えを伝え合う時間を1日1回以上設定する。 大明タイムで聞く力・伝える力に関連した活動を週1回行う。 ハッピータイム・集会でもめあてに沿った振り返り場面を設定する。		○		教務部
	児童アンケート「友だちのいいところを見つけ、伝えることができた」のA評価回答する児童の割合を70%以上 3学期62%【達成率78%】	学校 ○ 学級を超えた集団活動（縦割り班活動・学び合いタイム・ハッピータイム・読み聞かせ・委員会・給食など）の充実	○ 教職員は望ましい人間関係の視点で肯定的評価を行うとともに、児童同士の振り返りの場を設定し、個々の児童の意見のよさを伝える。 「えがおの花」カード等によって友だちの良さを見つけあう活動を学級や全校で推進する		○	○	教務部
		家庭 ○ 家庭での親子読書の推進 親子での会話・笑顔の花カードでの交流	○ 保護者は、読書週間の取り組みを学期に1回行う。 親子読書や笑顔の花カード交流について会話をします。			○	
		地域 ○ 総合的な学習の時間への参画	○ 地域は、ゲストティーチャーとして、授業・体験活動・探究活動等に学校の要請に基づいて協力する。			○	
働き方改革の推進	○ 最終退勤時間を守った教職員の割合85%以上	学校等 ○ 業務の見直し、改善と教職員のワークライフバランスの推進	○ 月1回校内労働安全衛生委員会を開催。 業務の共通理解と見直し、改善等を行う。				
	教職員アンケート「効率的な働き方に努めている」の項目で肯定的な回答割合を90%以上	○ 効率的な活動の実施	○ 学期に1回、計画年休取得期間を設定する 勤務時間外で行う育友会活動を20:30までに終了するように協力する（開始時刻の変更を含む）。				
		○ 学校支援活動の推進	○ 学校運営協議会において学校の働き方改革の話し合いを持ち、学校を支援する。				